

# TTC 提案山行実施記録

2016年8月2日 報告者: ST (1/2)

<b>山行名</b>	南アルプス 光岳 # [2,592m 長野県、静岡県]									
<b>実施日</b>	2016年7月29日[金]~7月31日[日] 2泊3日 マイカー利用									
<b>レベル/参加人員</b>	レベル: ★★★☆(かなり健脚向き) 参加人員: 申込名4名/実施3名(男性1名、女性2名)									
<b>パーティスタッフ</b>	CL/計画: SL: 会計: 救護: 写真: ドライバ正:、ドライバ副: <b>スタッフ名削除</b>									
<b>参加メンバ</b>	<b>参加者氏名削除</b>									
<b>費用</b> 23,900円/人  TTCカンパ金: 250円	[内訳]【交通費】自動車使用料: @10*480km=¥4,800、ガソリン代: 480km/8*@120=¥7,200、運転手謝礼: @5000*2日=¥10,000、高速道路代(厚木IC~新静岡IC)=¥3,210、高速道路代(静岡SA~厚木IC)=¥2,410、【宿泊代】横窪沢小屋: @7500(※)*3名=¥22,500、光岳小屋: @6000(※)*3名=¥18,000、【その他】共同食・共同装備代=¥800、白樺荘入湯料: @510*3名=¥1,530、通信費: ¥1,000、カンパ金: ¥250 <b>総額: ¥71,700 ⇒ 1人当たり¥23,900 (※: 2食付き、シュラフ持込料金)</b>									
<b>歩行時間</b> /行動時間		<b>7/29[金]</b>	<b>7/30[土]</b>	<b>7/31[日]</b>						
		歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動
	ガイドブック	3:55	-	-	9:00	-	-	10:25	-	-
	計画	<b>3:55</b>	0:40	4:35	<b>9:20</b>	2:25	11:45	<b>10:25</b>	2:40	13:05
	実績	<b>2:47</b>	0:33	3:20	<b>7:10</b>	2:30	9:40	<b>7:45</b>	2:20	10:05
(計画外の茶臼岳登山口~沼平ゲート駐車場間の歩行時間は含まず)										
<b>歩行時間率(実績/計画) 7/29[金]=71% 7/30[土]=77% 7/31[日]=74%</b>										

## 実行コースタイム記録

<b>7/29[金]</b>	厚木市内各所ピックアップ====東名厚木IC====新静岡IC 出口コンビニ====閑蔵線崩落工事関連ロスタイム====白樺荘==== 4:45-5:05 5:25 6:40-55 (ロスタイム:約40分) 10:10-11:10 井川観光協会登山バス 0:30 0:54(休:10') 0:46 0:37 ====畑薙臨時駐車場====沼平ゲート駐車場====茶臼岳登山口====ヤレヤレ峠====ウソッコ沢小屋====中ノ段====横窪沢小屋 11:15-20 11:25-45 11:53-12:00 12:30-38 13:42-49 14:35-43 15:20									
<b>7/30[土]</b>	1:24(休:10') 0:40 0:21 0:15 0:35 1:14(休:9') 0:45 0:53(休:7') 横窪沢小屋====華段====茶臼小屋====茶臼岳分岐====茶臼岳====希望峰====易老岳====三吉平====静岡高平(水場)==== 4:20起床-5:32 7:06-22 8:02-26 8:47 9:02-19 9:54-10:00 11:23-48 12:33-40 13:40-46 0:19 0:15 0:07 0:22 ====光岳小屋====光岳====光石====光岳小屋 14:05-15 14:30-33 14:40-50 15:12									
<b>7/31[日]</b>	0:15 0:48(休:9') 0:48 1:14(休:6') 0:37 0:24 0:26 0:52 光岳小屋====イザルヶ岳====三吉平====易老岳====希望峰====茶臼岳====茶臼小屋====樺段====横窪沢小屋==== 4:00起床-5:40 5:55-6:05 7:02-19 8:07-15 9:35-45 10:22-33 10:57-11:05 11:31-36 12:28-13:02 0:28 0:32 0:53 0:28 0:40 ====中ノ段====ウソッコ沢小屋====ヤレヤレ峠====茶臼岳登山口====沼平ゲート駐車場====白樺荘====静岡SA====厚木 13:30 14:02-14 15:07-17 15:45 16:25 16:45-18:00 22:00									

## コースの概要、特記事項、反省事項等

**経緯および概要** 南アルプス南部は奥深く、どこから入るにしてもアクセスが大変である。そしてこの奥深さゆえに、異常気象がもたらすゲリラ豪雨等の影響を受けて崩落発生によるアクセス道の通行止めが頻繁に発生し、その修復には数年を要することもある。2012年に南ア南部大縦走と銘打って『荒川三山~赤石岳~聖岳~光岳』を計画したが、易老渡~JR飯田線間の道路が不通となって光岳をあきらめたことがあった。やっと復旧したとの情報を得て、公共交通機関利用の『畑薙大吊橋~茶臼岳~光岳~易老渡』の縦走を今年度に入って直ぐに計画したが、暫くするとまた同区間が通行止めとなってしまい、マイカー利用の『畑薙大吊橋~茶臼岳~光岳』ピストン計画に変更を余儀なくされた。

畑薙大吊橋~茶臼岳までのルートは、“日本三大急登”が別ルートで設定されているが、これにも匹敵するのではないかとと思われるほど厳しく長い急坂が続く。奥深くて標高差もあり厳しい山であるからこそその魅力が感じられ、ここを計画すればマイカー2台程度の申込みがあることを想定してTTC歩行速度を念頭に、更には天候の急変や想定外のトラブルも考慮して予備日を1日プラスする等の十分な余裕を計画に織込んで作成した。実際の申込みは4名で、更に実施数日前になって体調不良を理由に1名のキャンセルが出て3名での実施となり、かなりコンパクトで身軽なチーム編成となった。

全体概要として前項で示した『歩行時間/計画時間』の歩行時間率を確認いただくとそれぞれ70%台であり、3日間平均歩行時間率=75%の結果となった。計画では『3泊4日(+予備日1日)』としていたが、3日目に偶然ともいえる好条件がいくつも重なって、一気に下山し厚木まで帰着する『2泊3日』とすることができた。ここにポイントを置きながら、以下報告する。

**7/29[金]** 曇時々晴 高速道サービスエリアでの朝食時間を確保するため、予定を15分早めて5:25に厚木ICに乗った。金曜日の早朝であり車の流れはスムーズである。計画より1時間も早く新静岡ICを降りて、コンビニで最後の食料を調達してから畑薙湖に向かう。北上するにつれて道が細くなり、“閑蔵線通行止”の掲示が目立つようになってきて不安を感じたので、当面の行先である『赤石温泉白樺荘』に電話して確認したり、道行く人に尋ねたりすると「崩落工事のため朝、昼、夜の決められた時間しか通行できない」という。「静岡まで戻って、閑蔵線を避けて別ルートに行く方法もあるが、かなり大回りになる」との話で、このまま行くとこまで行って待機することにした。通行止の看板板横のスペースに車を停めたが、通行可能となる12時まで3時間以上ある。観念して待機していたら、40分位経った時に、車体のサイドに“\*\*パトロール”と書かれた車(警察ではな

いが入ってきて「昨日は通れたので、とにかく行ってみたら…」とのアドバイスをいただき直ぐに出発した。(2/2)

何箇所か片側交互通行があったが問題なく通ることができ、白樺荘にほぼ計画した時間に到着してホッと胸をなでおろした。畑薙夏季臨時駐車場で登山届を提出し、「登山口～駐車場間は往路・復路とも送迎バスを利用する計画で予約してある」旨を伝えたと、「茶臼岳方面なら、一番奥の沼平ゲート駐車場まで行った方がいい」との、ここでもありがたいアドバイスをいただいた。このことが後で大きな効果となって現われることになるとは、このときは全く予想もしなかった(ポイント①)。

チョットした憧れであった畑薙大吊橋を十分な高度感を味わいながら難なく渡り、ヤレヤレ峠まで更に4つの吊橋を通過して、その後は厳しい急坂となる。少なくとも1日目は急がなければならぬ理由は全くなく、ゆっくりと確実に歩を進めていったが、節目ごとに設定した歩行時間のほぼ75%で歩くことができ、横窪沢小屋には計画より1:10も早く到着してしまった。

今回の山行は2日目の光岳小屋までが勝負どころであり、これに備えて復路にピックアップする残置荷物を整理してパッキング準備を終えると、持参したお酒で早速、本日の労をねぎらい合った。夕食を挟んで更に酒とお喋りで盛り上がっていると、消灯時間の20時が近づいていることに気づかず、慌てて寝袋に入るといふ始末であった。今回参加の3名は歩きに関してレベルが揃っていて常に歩きやすく素晴らしいチームワークを発揮することができたが、お酒に関してレベルが揃っていて小屋に着いてからも楽しい時間を共有することができたことが、翌日以降の活力につながったような気がする。

**7/30[土]** 晴のち曇 光岳小屋の食事提供には厳しい制限があるが、参加人数が3名となったことから基本条件が揃って、あとは15時までに小屋に到着する条件をクリアする必要があった。計画書では小屋到着時間が50分オーバーすることになっていたが、1日目の計画 vs 実績に基づいて推定すると、出発時間を早めなくても十分に時間内に到着できると踏んで、横窪沢小屋の朝食を頂いてから計画書通りの時間に出発した。茶臼岳に通じる尾根道に出るまで、更には茶臼岳山頂までは急登の連続で、息をつく暇もないほどであった。高度を稼ぐに従って少しずつ爽やかな風を感じるようになるが、それでもかなり蒸し暑い。曇り空から顔をのぞかすお陽さまを樹々が遮ってくれるのがせめてもの救いである。実際には小さなアップダウンを繰り返しながらの歩行であったのだが、感覚的には横窪沢小屋～茶臼岳までは登りの連続、そこから三吉平までは下りの連続、更にその先はもう一度登りの連続という感じであった。特に三吉平から先のゴロゴロ石の登りは、そこまで体力を結構消耗していたことから、かなりきつく感じた。それでも目標としていた15時に対して1時間近く前手繰りして到着することができた。宿泊手続きを終え明日の天気予報を確認してみると雨模様とのことで、早着のメリットを活かして明朝に予定していた光岳および光石を本日に終わらせることにした(ポイント②)。3日目は茶臼小屋泊の計画であり、山頂ピストンを2日目に終わらせておけば、より楽々な日になる位にしか、この時点では考えていなかった。夕食までにはまだ十分な時間があり、女性陣気配りの山ではスペシャルな手料理をおつまみに本日も酌み交わして話が弾んだ。夕食後は流石に疲れが出てのんびりしているとザーッと一雨きて、明日は降られるのかなと覚悟しながら、早々にまどろみの世界に落ちていった。「夜中にトイレに起きると満天の星空が広がっていてとても綺麗だった」という話を翌朝聞いたが、全く知らない状態であった。

**7/31[日]** 快晴～晴 早朝4時ジャストに灯りが点いて「おはようございます。本日は快晴で～す！」の大声で宿泊客全員がたたき起こされた(ポイント③)。私の経験では朝食の1時間前に全員を起こすという山小屋は記憶にない。日の出までには小1時間あるが、山の端は白んできていて雲一つない快晴の空に富士山が幻想的にポツカリと浮かんでいた(ポイント④)。ゆっくりできる一日であるから7時頃に出発できればよいと考えていたが、お蔭で朝食前の時間に身支度をすっかり整えることができた。朝食を頂いているとイザルヶ岳の山頂に少なからず人影が見えるが、小屋からでも素晴らしいご来光を十分に拝むことができた。朝食後、湯を沸かしてコーヒーを飲んでのんびりとした時間を過ごしたが、それでもすることがなくなって、計画より1:20早く、最後の宿泊客として小屋を出発した。15分も歩くとイザルヶ岳山頂で、快晴のもと360度のパノラマビューが広がっている。この頃まではまだ計画通りに茶臼岳小屋泊のつもりであったが、2日間の計画に対する実績から推定すると茶臼小屋には11時頃には到着できることが分かり、翌日は天候が下り坂であるとの今朝の情報を思い出すと、本日に下山して帰ろうという話に3人の意見が一致して一気に気持ちが傾いていった。2日目は結構きつかったが、ゆっくり休んだお蔭で脚は重くない。特にスピードを上げるようなことはせず、それまで通りの状態を保って歩を進めた。茶臼岳辺りでは、上河内岳、聖岳、大沢岳が手に取るような大迫力で眼前に迫り、その奥には赤石岳、更には荒川三山がくっきりと浮かんでいる。2012年の縦走では横殴りの冷たい雨に身体を震わせながら歩き、ほとんど視界がない中で山頂の道標にタッチしたのみというような苦い思い出が浮かんでくるが、これ以上ない青空の下で目に焼きつけることができ溜飲を下げる思いであった。茶臼岳登山口に15:45に余裕を持って下山することができ、白樺荘の風呂で汗とともに疲れも流し、22時に厚木に帰着することができた。

帰着後確認してみると3日目は『累積標高差:2,200m以上、歩行距離:沼平ゲートまで17km以上』のハードな内容であり、前2日間で体力を消耗していたことを加味すると、かなり頑張ったことは間違いないと思う。光岳小屋から茶臼岳登山口まで2日間の計画であったが1日で降りてくることができたのには、いくつもの幸運が重なった。本文中に要点をポイント①～④で示したが、これに参加者3名の抜群のチームワーク(ポイント⑤)を付け加えるべきことは言うまでもない。これらの内のどの1つが欠けても達成することはできなかったであろうことを思うと、本当に幸運であったと感謝の気持ちで一杯である。

**今後このルートで歩かれる方のためのルート、山小屋関連参考情報まとめ** ●マイカーで畑薙周辺に駐車する場合:榎島、聖岳方面に行かれる場合には東海フォレストの送迎バスを利用するしかないのに特に制約はないが、茶臼岳方面に向かう場合には復路で井川観光協会送迎バス利用の計画であっても沼平ゲート駐車場まで入った方がよく、その後の計画変更にも柔軟に対応できる ●ネットに山ビルや熊出没情報が載っていたが、今回は全く遭遇しなかった ●今回のコース上の山小屋(横窪沢、茶臼、光岳)のトイレはいずれも良い設備が整っており、バイオトイレを導入しているところもあった ●横窪沢小屋は直ぐそばに水量豊富な川が流れていて身体を拭くことが可能であった。現在、新棟増築中であり、更に快適になることが期待できる。昼間の食事提供には消極的なようで、対応していただけなかった ●茶臼小屋は結果として宿泊しなかったので詳細は不明だが、綺麗な小屋で水も豊富であった ●光岳小屋手前の静高平で基本的に水を補給していく必要があるが、涸れていた場合には小屋で無料提供していただけた。県営の小屋であり厳しい食事提供制限(3名以下のチーム、全員50歳以上、15:00までに小屋到着)が設定されているが、今回は恩恵を賜ることができた。食事提供を受ける/受けないに関係なく、朝4時に点灯とともに全員がたたき起こされるシステムであった。好天に恵まれると小屋からイザルヶ岳方面にご来光をバッチリ拝むことができ、暗いうちから起き出してイザルヶ岳山頂まで敢えて行く必要はないように感じた ●好天に恵まれた場合のイザルヶ岳の360度パノラマビューは、光岳山頂は視界がきかないこともあり、絶対にお薦めである — 以上 —